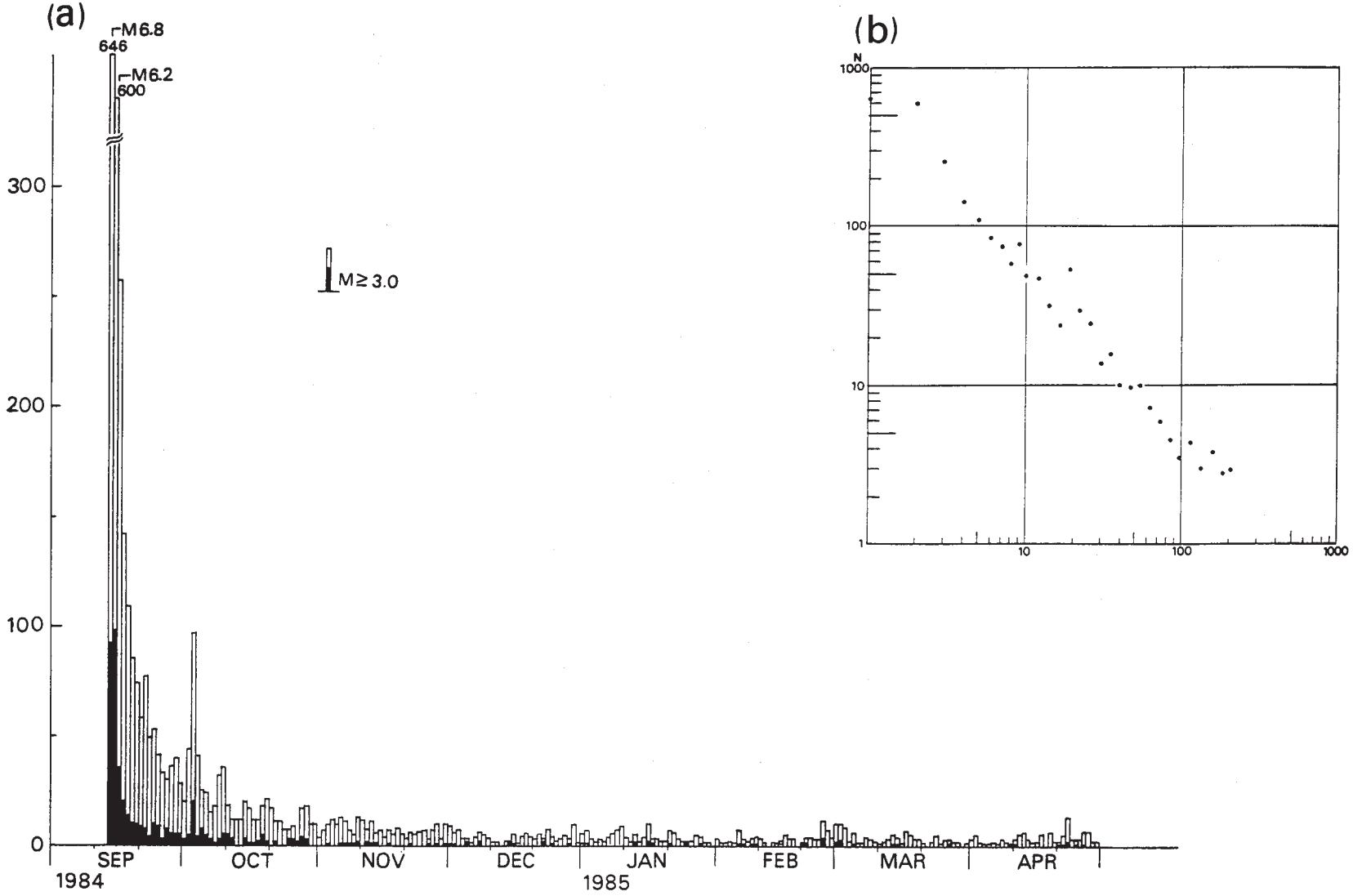
3 － 7　昭和 59 年（1984 年）長野県西部地震の余震活動

Activity of Aftershocks of the Western Nagano Prefecture Earthquake, 1984

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

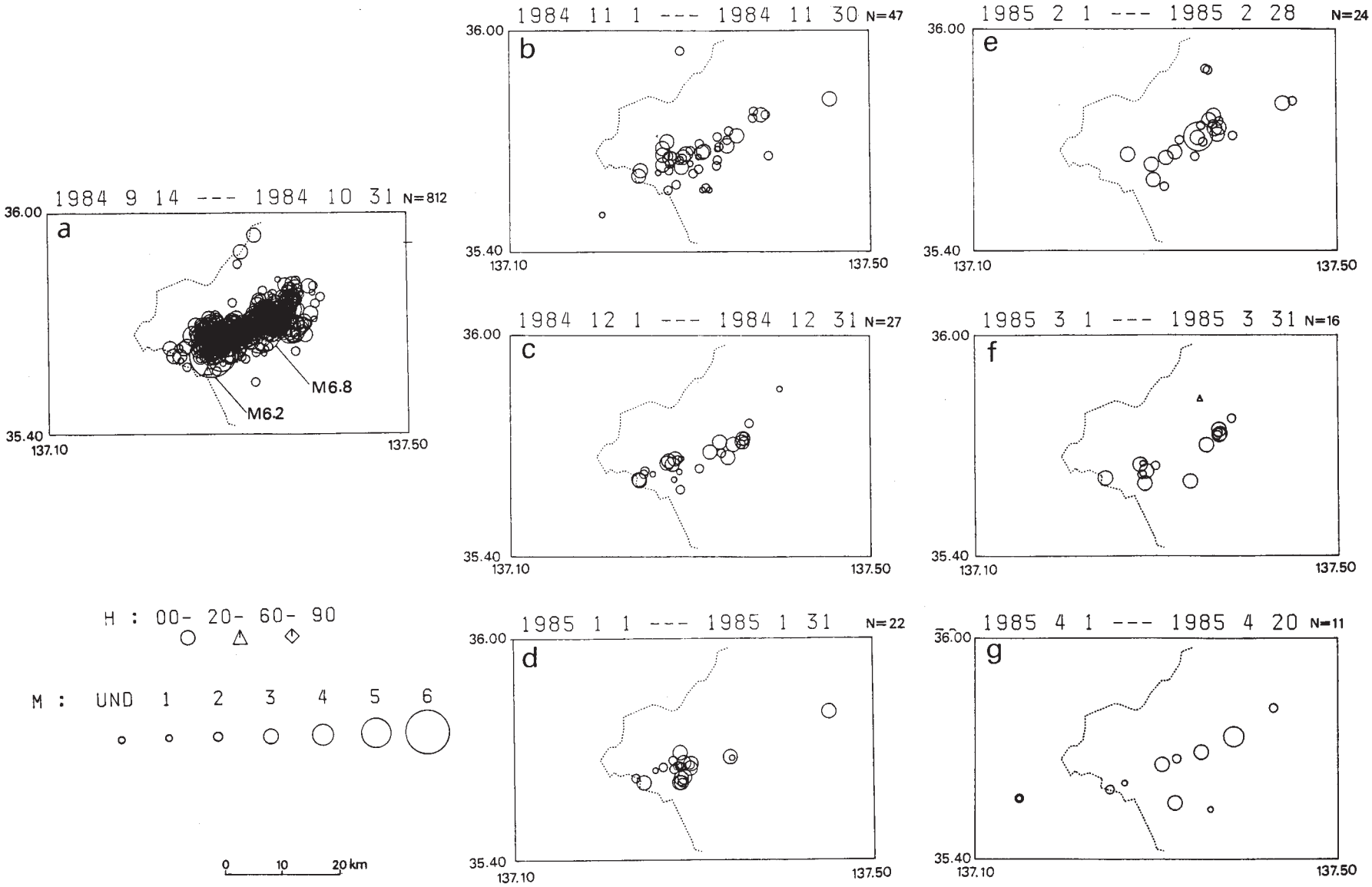
第 1 図（a）は長野県西部地震の余震の飯田における日別回数である。同図（b）はこれを対数目盛で表わしたものである。図 1 －（a）で黒く塗りつぶした部分は M3.0 以上の地震の回数である。昨年 10 月 3 日に M5.3 の余震があり地震回数が一時的に多くなったが，その後は 12 月中頃まで大体順調に減少してきた。しかし，12 月後半からは消長を繰り返しながら最近までほぼ横這い状態が続いている。M3.0 以上の地震もまだときどき発生している。12 月から 4 月までは月回数が 100 回前後，日平均にして 3 ～ 4 回程度の地震が観測された。第 1 図（b）をみても，本震から 100 日目くらいまでは直線的に減衰してきたが，その後は水平方向に折れ曲り減衰が遅くなっている。しかし，5 月は月回数が 38 回，日平均にして 1 回程度となり，全体的には順調な減衰をしているものとみられる。

第 2 図は余震活動の推移をみたもので，同図（a）は本震発生から 10 月 31 日までの余震の震央分布であり，（b）～（g）は 11 月以降今年 4 月 20 日までの月別の余震分布である。全体的にみて，11 月から 1 月までは第 2 図（a）にみられる余震域の西側で余震活動が活発であり，2 月以後は東側で活発化の傾向がみえる。2 月 26 日には M5.0 の地震があり，飯田で震度 3 などかなり広い範囲で有感であったが，M5 クラスの余震としては昨年 10 月 3 日の M5.3 の地震以来のものである。4 月 10 日には M4.5 の地震があり，飯田，松本，河口湖で震度 1 であった。また 4 月 17 日には，小さい地震であったが M2.9 と 2.3 の地震が，余震域の延長線上の岐阜県側の阿寺断層付近で発生した。



第1図（a），（b） 1984年長野県西部地震の余震の飯田における日別回数（b)図は対数表示

Fig. 1 (a) and (b) Daily number of aftershocks of the Western Nagano Prefecture Earthquake at lida, September 14, 1984 − April 30, 1985. (b) plotted with Logarithmic scale.



第２図（a）～（g）　長野県西部地震の余震活動の推移

Fig. 2 (a) – (g)　Monthly distribution of aftershock epicenters of the Western Nagano Prefecture Earthquake, 1984.